

<学校名> 草加市立川柳小学校

<所在地> 草加市青柳7丁目27-10

<電話> 048-931-5025

<本事例の特徴>

本校は、外国籍の子どもが 名在籍している。ここ数年で県外他市町村からの転入学してくる児童が少しずつ増加している。そこで、これらの外国籍の児童やその周りの児童がどう関わっていくかを学習する取り組みについて、外国語活動の学習を中心に紹介する。

<具体的な取組や成果>

○小3 外国語活動 Lesson5 「What do you like?」 1 / 4 時間

- ・「日本語と英語の音声の違いに気づき、身の回りのものの言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。」ことをねらいとした学習である。児童が ALT にインタビューし、母国のイギリスでの名産品の話や好きな動物、食べ物などを紹介してもらった。他国の文化に触れることで、児童の興味・関心を高めた。

○児童の感想より (一部)

外国の人とは、ドキドキしてなかなか自分から話しかけられないけど、ALT の先生の話聞いて、もっとイギリスのことを知りたくなった。いつかイギリスに行って、チーズがいっぱいのピザを食べてみたい。

○Lesson5 「What do you like?」 4 / 4 時間

- ・単元の最後の学習では、「『Who am I?』クイズをしよう!」というめあてを立て、児童同士で好きなもの(食べ物、色、動物など)を尋ねたり答えたりする活動を行った。

① food



②color



③animal



児童のクロムブックを使いスクールタクトに児童の好きなものの画像を貼り付けて友達同士で交流した。クラス全体でも『Who am I?クイズ』をし、「『I am ~!』」と積極的に答える姿が多くみられた。また、児童はコミュニケーションを通して、友達や ALT の新たな一面を知ったり、人によって好みが違うことを改めて感じたりすることができた。このことから、英語によるコミュニケーションの大切さや楽しさを体験的に感じ取らせることができた。

わたしは〇〇さんがカップラーメンを好きなことを初めて知りました。もっとクラスの友達の好きなものを英語で聞いてみたいくなりました。